

副腎皮質機能低下症(アジソン病)とは

副腎は腎臓の内側に1つずつあります。皮質と髄質の2つから成り、それぞれ異なるホルモンを分泌しています。皮質からのホルモン分泌が不足する疾患で、『アジソン病』とも呼ばれます。1〜6歳くらいの、若い子で見られる疾患です。

副腎皮質から分泌される主なホルモンは以下の通りです。(いずれもステロイドの一種です)

- コルチゾールなどの**グルココルチコイド**(代謝や血圧の調節、ストレスから体を守る作用)
- アルドステロンに代表される**ミネラルコルチコイド**(体のミネラルバランスや水分量の維持の働き)

典型的なアジソン病では、グルココルチコイドとミネラルコルチコイド両方の分泌が低下します。

※グルココルチコイドだけが不足する非定型アジソン病もあります。

《症状》

- 元気が無く震えている
- 食欲不振
- 体重減少
- 脱水
- 嘔吐、下痢(時に血便)

※投薬間隔が空いてしまったり強いストレスが加わると**アジソンクリーゼ**というショック状態に陥ることがあります。血圧、体温を維持できなくなり腎機能障害を起こし非常に危険な状態になります。

《診断》

ACTH負荷試験という血液検査を行います。ACTHというのは『副腎皮質刺激ホルモン』です。

①採血をし、刺激前のコルチゾール値を測定。

②ACTH製剤を注射で投与。

③注射してぴったり1時間後に再度採血をし、刺激後のコルチゾール値を測定。

※1時間の待機中は**極力ストレスが少ない方が正確な結果になります**。飼い主様付き添いで行うことがほとんどです。結果が揃うまでトータル2時間程度かかります。



低値の場合、アジソン病の診断となります。

また、同時に電解質バランスや腎機能も測定して、ミネラルコルチコイドの不足があるかも調べます。(低ナトリウム、高カリウムになっていると不足のサインです)

《治療》

◆内服薬

不足しているステロイドを補う治療です。

数種類のお薬があり、本人の症状や体調に合わせて種類や量を選択します。

◆注射

1か月作用するミネラルコルチコイドの注射で治療します。

月1回の来院時に電解質バランスを測定して注射の量を調節する場合があります。

アジソン病の子はストレスから体を守る力が不足してしまうためストレスに弱くなります。ちょっとしたきっかけでおなかを壊してしまったり、自傷行為を行う場合もあります。ご家庭でもサインを見逃さないよう、見守ってあげてください。